

やしま

笑顔とふれあいの健康ライフ

新型コロナウイルス感染症対策実施中

〒761-0186

香川県高松市屋島西町 2105 番 17

Tel 087-841-9141 Fax 087-841-7392

ホームページアドレス: www.yashima-hp.com

発行: 企画広報委員会



JICA 全中国衛生保健事業実施ちゃん



「Be prepared」

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も職員一丸となって、より良い病院づくりに邁進してまいります。

昨年は、元日の石川県能登半島地震(M7.6)に始まり、8月には宮崎県日向灘地震(M7.1)が発生し、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど、新型コロナウイルス感染症のダメージから回復する間もなく更に追い打ちをかけるかのように自然災害が私たちの日常生活に打撃を与えました。

私たちが住んでいる日本はその位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水土砂災害、地震、津波、火山噴火などによる災害が発生しやすい国土、すなわち災害大国と言われています。その中で香川県は比較的自然災害が少なく住みやすい県とされ、香川県統計協会が発行した「100の指標からみた香川(令和6年版)」を見ると自然大害被害額は全国第5位(少ない方から数えて)となっています。しかし、いくら被害額が少ないからといって離れた地域で起こった災害を「対岸の火事」と思わないで、備えを徹底することが大切です。当然ながら隣県の災害時にも患者さんの受け入れなどがスムーズに出来るよう準備しておくなくてはなりません。ちなみに南海トラフ巨大地震はM9.1規模とも言われています。

屋島総合病院でもまだ十分なものとは言えませんがBCPを作成し有事に対応出来るようにしています。皆さんもご存知の通りBCPとはBusiness Continuity Planの略称で「事業継続計画」と訳され、緊急事態が発生した際に、企業が事業を継続したり迅速な復旧を行ったりするために必要な方針・体制・手順などを定めたものです。しかし、災害が発生した時まずは自分自身の身の安全を確保しご家族の安全を確認することが大切です。防災対策を十分に行っていると胸を張って言える家庭はまだ少数かと思います。そこで、BCPを家庭に置き換えて、FCP: Family Continuity Plan=家族継続計画を立ててみてはいかがでしょうか。家庭内で災害や万が一の事故が起こった際の対応方法を予め計画しておくことを言います。FCPを作成し普段から対応方法を想定していると、正しい判断と行動を取ることが出来ます。

表題の「Be prepared」は「備えよ常に」という意味です。ボーイ・スカウトの有名なモットーである、「いつなん時、いかなる場所で、いかなることが起こった場合でも善処ができるように、常々準備を怠ることなかれ」を表しています。この一言を胸に刻んで日々過ごしたいものです。



病院長 齊藤 誠



人工膝関節手術支援 ロボットについて



整形外科部長
高橋 啓太 先生

専門領域: 膝関節外科、
人工膝関節

専門医等: 日本整形外科学会専門医
日本人工関節学会認定医
臨床研修指導医
日本医師会認定健康
スポーツ医

外来診療:
月曜日午前、
水曜日午後

加齢や体重の増加などで膝関節内の軟骨がすり減り、慢性的に強い痛みを伴う変形性膝関節症。悪化した場合には、人工関節に置き換える手術「人工膝関節置換術」を検討します。当院では、手術がより正確かつ安全に実施できるよう、人工膝関節手術支援ロボットを導入しています。

▶ 人工膝関節置換術とは？

膝の傷んだ骨を専用の器具で削って取り除いた後、合金やポリエチレン(医療用人工軟骨)などで成形された人工関節に置き換える手術です。大きく分けて膝関節全体を人工関節に置き換える全置換術(TKA)と、膝関節の傷んでいる部分だけを人工関節に置き換える部分置換術(UKA)の2種類があります。患者さんの体にかかる負担をなるべく少なくし術後回復を早めるため、切開する皮膚の長さを短くし、筋肉や靭帯を切らずに温存する方法を積極的に導入しています。患者さん一人一人の膝の形状や状態に合わせて手術方法を選択し、理想的な位置に正確に人工関節を設置する必要があります。

▶ 人工膝関節支援ロボットとは？

当院で導入したロボットには赤外線を使った位置測定システムが搭載されており、手術中に骨表面をなぞったり膝の動きを確認することで、実際に骨を切除する前にソフト内で立体的な骨モデル情報を作成し、骨を削る

位置や角度、最適な人工関節のサイズといった手術計画を立て、その計画通りに手術を行った場合の膝の動きの予測まで行ってくれます。

医師は術前の計画と照らし合わせることができ、誤差があれば微調整したうえで手術ができます。また、骨を削るドリルバーシステムにも特徴があり、ドリルバーの位置や削るべき骨の場所をスクリーンに表示して医師を視覚的に誘導してくれるほか、計画にない位置ではドリルの先端が自動的に格納されるために削り間違いも防げます。掘削誤差はわずかで、理想的な位置に高精度で人工関節を設置することができ、TKAやUKAなど人工膝関節置換術の全ての術式に対応しています。

▶ 注意点は？

人工膝関節手術支援ロボットを正しく使えば高い正確性と安全性が担保されるため、術後の満足度の向上が期待できます。ただしロボットが自動で手術をするわけではなく、また仮にロボットがミスリードを起こした場合には術者が確実に気づかなければなりません。人工膝関節置換術に習熟した医師が使用して初めて安全に活用できるという点には留意する必要があります。

▶ 患者さんへ一言

変形性膝関節症は、手術しか手段がなくなる前にできる治療もあります。手術となっても多くの選択肢があります。膝に不調を感じたら、専門医のいる医療機関を一度受診して自身の状態を確認してほしいです。



人工膝関節手術支援ロボットの使用イメージ

医師紹介

2024年12月に赴任した医師を紹介します。より良い医療を目指して活躍中です。よろしくお願いいたします。



*医師紹介は、広報紙を発行するタイミングに掲載しているため、赴任してからの期間が開く場合がございます。

研修医（外科・小児科・内科）



ことぶき まなぶ
壽学

専門領域：内科一般

12月から3月まで4ヶ月、こちらで研修をさせていただきます。12月は外科を、1月は小児科を、2～3月は内科を回る予定です。まだまだ若輩者ですが、さまざまな領域の患者様の診療に触れ、勉強させていただくとともに、この病院のスタッフの一員として貢献したいと思います。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

TOPICS

「マイナンバーカードの保険証」について

- 1階新患受付に設置してあります顔認証付きカードリーダーにて保険証としてご利用いただけます。

マイナンバーカードを保険証として利用された場合、健康保険証や限度額適用認定証（※）の提示は不要となります。ただし公費等各種受給者証については、現在対応しておりませんので窓口へご提示していただく必要があります。



（※）限度額適用認定証とは… 窓口での支払が高額になる場合に、自己負担額を所得に応じた限度額にするための証書です。

現行の健康保険証の新規発行は2024年12月をもって停止となりました。今後は、国がマイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）を基本とする仕組みに移行していきます。ただし、移行後も

お手元の健康保険証は、有効期限までの間、**最長1年間**使用できます。

※後期高齢者医療保険加入者の方の有効期限は2025年7月31日となりますのでご注意ください

【マイナ保険証ならではのメリット】

- ☑ 過去のお薬・診療データに基づく、より良い医療が受けられる
- ☑ 突然の手術・入院でも高額支払いが不要になる
- ☑ 救急現場で、搬送中の適切な応急処置や病院の選定などに活用

マイナ保険証利用についてご不明な点や操作が不安な時はいつでも受付にて対応いたしますのでご相談ください。なお、より詳細な内容につきましては厚生労働省のホームページ等をご参照ください。



*記事内容は厚生労働省のパンフレットを参考にしております。

2025年 今年の病院目標は 『 S・O・R・E 』 + 『 G 』



2025年がスタートしました。1月6日講堂にて新年祝賀式を行いました。田宮理事長、齊藤病院長よりそれぞれ新年の挨拶があり、齊藤病院長からは今年の病院目標「SORE+G」が発表されました。

- Ⓢ Start : スタート (新しく始める)
 - Ⓞ Ovation : オベーション (声を出して褒める)
 - Ⓡ Respect : リスペクト (敬意を表す)
 - ⓔ Effort : エフォート (努力)
- + プラス
- ⓐ Greeting : グリーティング (挨拶)



写真：2025年1月6日新年祝賀式より齊藤病院長

本年は60年に1度巡ってくる「乙巳（きのと・み）」の年です。「きのと」とは草木がしなやかに伸びる様子を表し、「み」へビは脱皮を繰り返し、不老不死のシンボルとされていることから「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」と言われています。2025年も時代の変化に対応しながら、地域や患者さんに満足していただける医療を目指し、努力してまいります。

「クリスマスコンサート」を開催しました

2024年12月20日(金)に外来ホールでクリスマスコンサートを開催しました。入院患者さまや地域の方々約130人が来場し、ジャズオーケストラによるクリスマスソングの演奏を楽しまれました。当コンサートは、音楽を通じて患者さまや地域の皆さまに癒しの時間を提供し、地域との連携を図ることを目的に2006年から毎年実施(コロナ禍は中止)し、今年で16回目の開催となりました。当日は、香川県坂出市を拠点として活躍するビックバンド「SKGジャズ・オーケストラ」が、クリスマスソングを中心に迫力のある演奏を披露し、「音」を「楽」しむ温かいひとときとなりました。



【編集後記】明けましておめでとうございます。お正月の楽しみの一つと言えば“おせち料理”ですね。一つ一つの食材に願いが込められています。黒豆、数の子、海老などはとても有名ですね。それぞれ「まめまめしく働く」「子孫繁栄」「腰が曲がるまで健康でいられるように」といったものです。何気ない一品にも願いが込められていると思ういつもよりありがたく感じますね。当院でも元日、入院患者様の昼食に“おせち料理”が出され、お正月の食事を楽しまれたそうです。



写真：おせち料理(常食)

本年も「広報紙やしま」をよろしく願いたします。(企画広報委員会)